

# CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)淀川区神崎川計画 新築工事		
建設地	淀川区新高6丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,554.07	m <sup>2</sup>	
建築面積	418.31	m <sup>2</sup>	
延床面積	4,552.25	m <sup>2</sup>	
構造/階数	RC造	/	地上15階
完了年(予定)	2021年10月		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**B+**  
BEE=1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

**Q1 室内環境** Q1のスコア= 3.0

**Q2 サービス性能** Q2のスコア= 3.3

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア= 3.1

**LR1 エネルギー** LR1のスコア= 3.7

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア= 2.8

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアガラス、Low-Eガラスなどを採用し、専有部の断熱性能を向上した。</li> <li>敷地内に空地を出来るだけ多く確保し、植栽帯を設けた。</li> </ul>	外壁を白系の色調をベースとし、周辺の落ち着いた住宅街に馴染む外観とした。	
<b>Q1 室内環境</b> 集合住宅という用途から、騒音等に配慮した計画としつつ断熱性についても過不足なく計画することで快適な居住空間とする。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物内部への出入口には防犯カメラを設置しセキュリティ面の向上を図っている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に中高木を多数植え、敷地内の環境に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁に面する部分とその周辺には断熱材を施す。ペアガラスを用いることで、断熱性能を向上させる。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材が容易に分別可能となっています。	<b>LR3 敷地外環境</b> 一般的な建物よりライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量を軽減している。

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.2

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.1
配慮事項	一般的な建物よりライフサイクルCO2排出量を軽減	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	可能な限り敷地内に植栽を設け、温熱環境悪化の対策を行っている	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	性能評価 断熱等性能等級4を取得予定	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.0
配慮事項	特になし	

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）  
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	等級4	（相当）	非住宅部分[BPI][BPIm]	-
	建物全体[BEI][BEIm]	0.90		住宅部分[BEI]	0.90
一次エネルギー消費量				非住宅部分[BEI][BEIm]	-



## 再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

<b>1 設備導入の検討</b>																
① 周辺環境の把握																
② 日照条件の検討																
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ（ 44 ） m <input type="checkbox"/> 地上部（ <input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他 ） <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他（ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分															
③ 熱需要の条件等の検討																
ア 建築物の用途	共同住宅															
イ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）															
ウ 設置可能面積	（ 70.0 ） m <sup>2</sup>															
エ 概算年間熱利用量	（ 60,956 ） MJ/年															
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし															
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（例：設備用基礎の設置） （ ）															
④ 導入判断																
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない																
導入を見送る理由（複数選択可） <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input checked="" type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他（ ）																
<b>2 導入する設備の概要</b>																
ア 集熱パネル面積	（ ） m <sup>2</sup>															
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年															
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）															
備考																